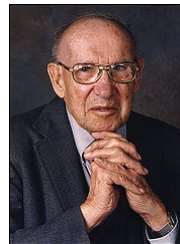


## ドラッカー名言録

「最も重要なのは、タスクに目を配ることであって、自分自身についてではない」



(裏面に解説！)

VOL.80. 2013. 3月号

## 「気付く＝見抜く」

あなたは、誰よりも周囲の人の変化に、環境の変化に、気付ける人ですか？

この気付きはとても重要です。

気付く = **見抜く！**

人の変化を見抜く！！環境の変化を見抜く！！だけでなく、**今在ることを見抜く。**

見抜く力がないと、一緒にいる人の価値、能力を見つけてあげられません。

悪いところばかり目を奪われるかもしれません。それでは、人をハッピーにすることは出来ません！！

見抜く力は

＝陰ながら動いた人、変化を怖がる人などをクローズアップし、**評価を与え、自信を持たす**ことが出来ます。

誰もが目にとまるくらい出来る人は、誰もが褒めるのでドンドン伸びます。

しかし、大抵の環境には、陰ながら動く人、自信なさげにちょっとやってみる人、自信ないから少しもやらない人、目立ちたくない野望もないけど一所懸命**みんなの為に動く**人等がいます。

その環境は、家族にしても、会社にしても、チームにしても、友達関係にしても同じことが言えますが、実はその人たちはその環境を大きく変えるキッカケにもなります。

出来る人、目立つ人がクローズアップされる環境は、ある意味当たり前です。

家族なら成績が良いお兄ちゃんは褒めら、会社なら仕事がよく出来る人は昇格し、チームならよく結果を出せる人はレギュラーになる。などなど、当たり前です。

しかし！！

本当に強い環境は、「出来る人は出来る人としてクローズアップすることは忘れず」、出来ない人目立たない人を、出来るように目立つようにすることに力を注いでいる環境はとても強くなります。

人は、人に認知されたいという欲求が誰にでもあります。

一番つらいこと。それは、叱られることではなく、けなされることでもなく、「**関心を持たれないこと**」です。

どんな役割で、どんなポジションで、どんな性格で、どんなレベルかわからないですけど、身体に不必要なパーツがないように、環境で**不必要な人はいない**はず。

目立たないから気付かないではなく、そんな役割が陰働きしてくれている可能性もあるということを知ると、見抜いてやれないのは恥ずかしいことになります。

陽ばかりですべてが明るいほうが最幸！と想いがちですが、必ず陽ばかりの世界はなく陽があればその反対には陰があります。

前回の野球の世界大会(WBC)では、松阪・ダルビッシュ・イチロー達が目立っていましたが、やはり、彼等は逆に、補欠に回った選手、外された選手、戦線離脱した選手、サポートしてくれた監督、コーチ、トレーナーなどの人を称えました。この気持ちが裏方や補欠を鼓舞し、チームを一体化させます。

裏方や補欠を見下す人がいたら、裏方や補欠の人たちは恐らく愚痴り、そして情熱をかけず、悪い空気だけ残し去っていくでしょう。そして、その環境は崩れてしまいます。

もしあなたがクローズアップするのが、目立つところ、目立つ人、そして皆の悪いところばかり気付く・・・になっているなら、それは気付きが衰えていると感じてください。

**周囲の人のちょっとした変化に気付く。**それは、その人をハッピーにするチャンスです！！

そっと声をかけてあげましょう！！！！

「助かった！ありがとう！！ そんなこと ~さんにしか出来ないよ！！」と。



フェイスブック始めました。左 敬真  
お友達申請お待ちしております。

